令和５年度　事業計画書

自　令和 ５年 ４月 １日
至　令和 ６年 ３月 31 日

特定非営利活動法人　地球学校

Ⅰ．総括方針

令和５年度、地球学校は NPO として 23 年目です。認定 NPO 法人の５年ごとの更新が認可され、認定 NPO 法人として 10 年目です。日本社会はマスクの着用が個人の判断が基本となり、教室内での飲食も自由になりました。とはいえ、コロナ禍に定着したオンラインによる NPO のミーティングやレッスン・教室は基本的に継続します。助成金は「ベネッセこども基金」３年計画のうちの３年目を迎えるため、最終成果を出すべく一般公開に向けて活動します。

日本語教室では、定着しているオンライン日本語レッスンを継続的に進める一方で、希望があれば対面レッスンも実施します。既に対面で開催している KANJI カフェは土曜日午後に定期開催します。日本語教師のための勉強会は、学びとともに交流の機会となるよう月１回の開催を計画しています。主催は日本語教室ですが、今年も地球っ子教室の会員にも呼びかけ、教室の垣根を超えた学びの場にします。また、学習者対象のイベントも年２回の開催をします。個人レッスンをしている学習者同士が日本語で交流できる場を、今年も対面で開催したいと考えています。

地球っ子教室は 2003 年３月に開始してから 20 年を迎えました。今年度も年間を通して対面教室とオンライン教室を同時開催します。新規の取り組みとしては、部活動のため土曜日午後の教室参加が難しい中学生を対象に、土曜日午前にオンライン教室を設けます。また、支援者を対象に、昨年度参加した事業評価研究会の成果を基に、それぞれの自己研鑽の助けになるような仕組みを実行します。保護者対象としては、毎月「もぐらん通信」を発行し、教室や子どもたちの様子を伝えます。運営委員会は２回、年度初頭と期末に開催します。

多文化交流では、12 月は毎年恒例の寄付月間の賛同企画を日本大通実行委員会として開催します。市民活動フェアなど対外的なイベントについては、開催場所や内容ほか主催者の決定に従い参加します。各教室の内部イベント、会員同士の交流会も例年通り開催します。

ベネッセこども基金の助成による事業「外国につながる子どもたちの日本語学習を支える教室のオンライン化事業」は３年目、最後の年となります。３つの重点実行項目において進めている教材を、2024 年春に一般公開します。重点実行項目①では、「教科・日本語」「オンライン遊び」を公開できるよう進め、使い方のヒント集も作成します。重点実行項目②では、音読用の「ものがたり」教材を新規に３作品作成します。通算では９作品（各２種）を、使用のヒント集とともに公開できるよう進めます。重点実行項目③では、地球っ子教室で年 2 回開催する「イベント漢字王決定戦」用の問題作成と実施をします。「ゲーム漢字王決定戦」では外部の専門家等の協力を得て新規問題の公開を目指すとともに、別サイトで使用のヒント集を公開できるよう進めます。

今年度はアフターコロナ１年目です。対面で開催する機会を楽しみつつも、定着したオンラインが有効な場面では変わらず継続していきます。NPO として進めてきた ICT 化も日常になりつつあるので、整理するとともにさらに有効活用していきます。

Ⅱ．事業内容

１．日本語教室に関する事業

・内容　　日本語上達を希望する学習者への日本語指導、日本語学習支援
・日時　　通年　オンラインレッスン　約 1860 時間
・場所　　かながわ県民センター、企業の会議室、オンライン
・従事者人員　　日本語教師資格を有する正会員　約 40 名
・受益対象者　　日本語学習を希望する母語が日本語ではない学習者　約 50 名
・支出見込み額　　2,746,000 円

２．地球っ子教室に関する事業（外国人児童生徒への支援）

・内容　　外国につながる子どもたちの学びを支える教室の開催
・日時　　通年の土曜教室（33 回）・夏休み教室（5 日間）・春休み教室（2 日間）
　　漢字王決定戦（2 回）、運営委員会（2 回）、内部研修
・場所　　かながわ県民センター、オンライン
・従事者人員　　会員・支援者（一般・大学生）　約 40 名
　　外部運営委員　3 名
・受益対象者　　外国につながる子どもたち　約 50 名
・支出見込み額　　1,018,000 円

３．多文化交流に関する事業

・内容　　寄付月間イベント、市民活動フェア、会員交流会ほか
・日時　　通年　全７回
・場所　　かながわ県民センター、オンライン
・従事者人員　　担当スタッフ　２名
・受益対象者　　会員、各教室の学習者・子ども達、日本在住外国人、日本人 延べ 200 名
・支出見込み額　　37,000 円

４．ベネッセこども基金の助成による事業（３年計画の３年目）

・内容　　外国につながる子どもたちの日本語学習を支える教室のオンライン事業化
・日時　　通年
・場所　　かながわ県民センター、オンライン
・従事者人員　　会員・支援者・外部専門家　　約 40 名
・受益対象者　　地球っ子教室及び一般の外国人児童生徒とその支援者
・支出見込み額　　3,356,255 円